



「メディア・リテラシーと人権について考える授業」(3年生)



9月9日(火) 反差別・人権研究所みえの方を講師に迎え、3年生で「メディア・リテラシーと人権について考える授業」を行いました。身近にある SNS 上でのやりとりから、インターネットで得られる情報を正しく読み取ることや知らないうちに相手のことを傷つけてしまっていないか、など、子どもたちの身の回り起こりうる出来事について考えました。「メッセージを返さなかったら悲しむと思う」「夜遅くになったので、メッセージが返せ

なかったのかもしれない」など、当事者の気持ちになって自分なりの意見を発表しました。通信機器の普及によって、SNS 上で文章でのやりとりがスムーズになりました。一方で、相手の気持ちが伝わらなかったり解釈が違ったりすることでトラブルになることもあります。メディアと上手に付き合いながら、他者の人権を大切にすることができるよう、この授業で学んだことを活かしていきましょう。



茶づくりについて学びました(3年生)

社会科では「田畑ではたらく人びとの仕事」の学習で、茶づくりについて学んでいます。学習の一環として、今日は三重茶農協に社会見学に行きました。職員の方から茶づくりのことや茶農協の仕事などをお話していただいたあと、大きな冷蔵庫になっている倉庫の中を案内してくれました。「お茶はいつとれるのですか」「冷蔵庫の温度は何度くらいですか」「冷蔵庫の中になぜ扇風機があるのですか」「コンピューターを使っているのはなぜですか」など、子どもたちが疑問に思ったことをたくさん質問していました。学校に戻ってからは、今日の見学でわかったことや感想を書きながら、学んだことを振り返ることができました。教科書や資料だけでなく、実際に見たり聞いたりする体験的な活動は、子どもたちの知識をしっかりとしたものになります。地域とのかかわりの深い教材の多い3年生では、見学や体験、人との出会いを通して、学習を深めていきたいと思います。



自分や仲間の命を守るためにできること～9月11日(木)避難訓練～



9月1日は防災の日。本校においても、この日にちなんで地震被害を想定した避難訓練を実施しました。今回は、「地震による揺れのあと、理科室からの出火」という想定で訓練をしました。緊急地震速報をきき、教室では揺れが収まるまで頭を守る工夫をしました。北校舎の教室等に子どもたち全員が授業をしていましたが、速報が流れたときには、静まり返っていました。揺れが収まり、「体育館に避難」と放送が流れると、すぐに整列し、静かに移動を開始しました。天候の状況を見て、今日は「体育館」に避難場所を変更しましたが、子どもたち

も戸惑うこともなく、しっかりと先生の指示を聞き、避難できました。体育館では、避難にかかった時間の速さではなく、いかに安全に避難することができたかが大切であること、また、日常の教室移動から「すばやく整列、静かに移動」を合言葉に、緊急事態に普段から備えておくことの2点を話しました。災害時に、誰一人として命を落とすことがないように、備えておくことの大切さについて、この機会にご家庭でもお話してみてください。

発見！水沢っ子の素敵な姿！！

11日(木)に行われた避難訓練での出来事です。体育館に避難が完了した後、出席者全員の無事を確認し、私から振り返りの話をしました。子どもたちの視線は、前に立った私のほうをじっと見てくれています。とくに6年生の姿は素晴らしかったです。「人の話を聴く」ことは、相手を大切にしている行動の1つだと考えています。最後まで、姿勢を崩さずに話を聴こうとする姿は、さすが最高学年だと感じました。



(文責 岡本 浩樹)